

DENKA

2011年度 第2四半期決算説明会



2011年11月8日

高い技術力で「資源」から「価値あるモノ」を生み出す企業

経営概況 説明資料 目次

1. 2011年度第2四半期決算概要

- ①前年同期比 P.1
- ②前年同期比（セグメント別） P.2
- ③当初予想比 P.3
- ④当初予想比（セグメント別） P.4
- ⑤マイナスの要因 P.5

2. 2011年度通期業績予想

- ①前提条件等 P.6
- ②当初予想比・前年同期比 P.7
- ③外部環境・需要動向・課題 P.8
- ④当初予想比（セグメント別） P.9

3. 主力製品動向

- ①電子材料 分野別 P.10
- ②売上高推移 P.11
- ③クロロプレンゴム・その他 P.12

4. 今後の具体的戦略

- ①経営環境の変化と事業運営 P.13
- ②具体的戦略 P.14

5. 資本政策 P.15

6. 最後に(DENKAの企業活動) P.16

業績の予想の適切な利用に関する説明

1. 第2四半期 決算概要 ① (前年同期比)

単位:億円

	実績	前年同期	増減	主な増減要因
売上高	1,834	1,767	66	有機系素材 11 無機系素材 5
(海外売上高の割合)	(29.2%)	(26.3%)	(+1.9%)	電子材料 ▲14 機能・加工製品 ▲9 その他・消去 ▲0
営業利益	118	126	▲8	(営業利益) ▲8
(営業利益率)	(6.4%)	(7.1%)	(▲0.7%)	持分法投資損益 減 ▲3 固定資産処分損 減 3
経常利益	108	116	▲8	(経常利益) ▲8
四半期純利益	70	77	▲7	(純利益) ▲7

1. 第2四半期 決算概要 ②(前年同期比・セグメント別) 単位:億円

売上高	実績	前年同期	増減
有機系素材事業	845	765	80
無機系素材事業	238	238	0
電子材料事業	230	241	▲11
機能・加工製品事業	358	359	▲1
その他事業	162	164	▲2
合計	1,834	1,767	66

販売価格差	数量差
73	7
2	▲1
▲7	▲4
▲0	▲0
0	▲2
68	▲1

営業利益	実績	前年同期	増減
有機系素材事業	38	27	11
無機系素材事業	17	12	5
電子材料事業	33	47	▲14
機能・加工製品事業	26	36	▲9
その他事業	4	3	0
消去差	▲0	0	▲1
合計	118	126	▲8

販売価格差	数量差	コスト差等
73	4	▲66
2	▲0	4
▲7	0	▲8
▲0	▲5	▲4
0	0	0
0	0	▲1
68	▲1	▲75

1. 第2四半期 決算概要 ③ (当初予想比)

単位:億円

	実績	当初予想	増減	主な内訳
売上高	1,834	1,930	▲96	有機系素材 0
(海外売上高の割合)	(29.2%)			無機系素材 1
				電子材料 ▲12
				機能・加工製品 ▲1
				その他・消去 0
営業利益	118	130	▲12	(営業利益) ▲12
(営業利益率)	(6.4%)	(6.7%)		為替差損 0 → (-)6 他
経常利益	108	125	▲17	(経常利益) ▲17
				特別損失(-)10 → (-)6 他
四半期純利益	70	75	▲5	(純利益) ▲5

1. 第2四半期 決算概要 ④ (当初予想比・セグメント別) 単位:億円

売上高	実績	当初予想	増減
有機系素材事業	845	893	▲48
無機系素材事業	238	239	▲1
電子材料事業	230	253	▲23
機能・加工製品事業	358	369	▲11
その他事業	162	176	▲14
合計	1,834	1,930	▲96

販売価格差	数量差
▲16	▲32
▲4	3
2	▲25
▲2	▲9
0	▲14
▲20	▲76

※
原材料価格 21
在庫要因他 14

営業利益	実績	当初予想	増減
有機系素材事業	38	38	0
無機系素材事業	17	16	1
電子材料事業	33	45	▲12
機能・加工製品事業	26	26	0
その他事業	4	5	▲1
消去差	▲0	-	0
合計	118	130	▲12

販売価格差	数量差	コスト差等
▲16	▲10	26
▲4	1	4
2	▲15	1
▲2	▲3	5
0	0	▲1
0	0	0
▲20	▲27	※35

1. 第2四半期 決算概要 ⑤ (マイナス要因)

単位:億円

マイナス要因

	【 営業利益 】	【 税引前利益 】
①震災の影響	▲ 9	▲ 12
②プラントトラブル	▲ 5	▲ 5
③価格転嫁タイムラグ	▲ 10	▲ 10
<hr/>		
一過性の要因 計	▲ 24	▲ 27
円高 (89.0 → 79.8 円/ドル) の影響	▲ 8	▲ 8

2. 通期業績予想 ① (前提条件等)

単位:億円

前提条件	2011年度 4~9月	2010年度 4~9月
為替レート [円/\$]	79.8	89.0
国産ナフサ [円/Kg]	57,000	46,200

2011年度 10~3月 予想	2011年度 通期 予想	2010年度 通期 実績
78.0	78.9	85.7
52,000	54,500	47,450

参考数値	2011年度 4~9月	2010年度 4~9月	増減
設備投資額	105	87	18
減価償却費	114	109	5
研究開発費	53	49	4
有利子負債残高	1,159	1,233	▲74

2011年度 10~3月	2011年度 通期 予想	2010年度 通期 実績
115	220	213
116	230	223
57	110	98
1,130	1,130	1,146

2. 通期業績予想 ② (当初予想比・前年同期比)

単位:億円

	今回予想			当初予想	前年同期
		4~9月	10~3月		
売上高	3,870	1,834	2,036	4,140	3,579
営業利益	260	118	142	320	246
(営業利益率)	(6.7%)	(6.4%)	(7.0%)	(7.7%)	(6.9%)
経常利益	240	108	132	310	231
純利益	150	70	80	180	144

2. 2011年度通期 業績予想 ③ (外部環境と需要動向・課題)

【経済環境】

内需：震災の影響がなくなり、復興需要も始まる

(但し2011年度内に実現する需要はその一部のみ)

輸出：欧州の信用不安に端を発した世界経済の減速、中国経済引き締め策実施、円高の進行・定着、等先行き不透明な経済環境
タイの洪水問題

【需要動向・課題】

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 石 化 | ○ 家電製品向け需要低迷・原料価格下落局面での価格維持 |
| C R | △ 中国他アジアの需要回復時期不明 (早くても旧正月明け以降か) |
| 特 混 等 | ○ 復興需要期待 (含む住設・環境資材) |
| 電 材 | × 半導体・電子部品分野 (シリカフィラー・搬送材) |
| | △ 液晶TV・LED分野 (蛍光体他) |
| | ○ エネルギー・インフラ分野 (ANP・アルシク) |
| 産業資材 | × DXフィルム (欧州太陽電池ビジネスは当面厳しい状況が続く) |
| 医 薬 | ○ 高分子ヒアルロン酸製剤の拡販 |
| | ○ インフルエンザ関連製品 (ワクチン・検査試薬) |

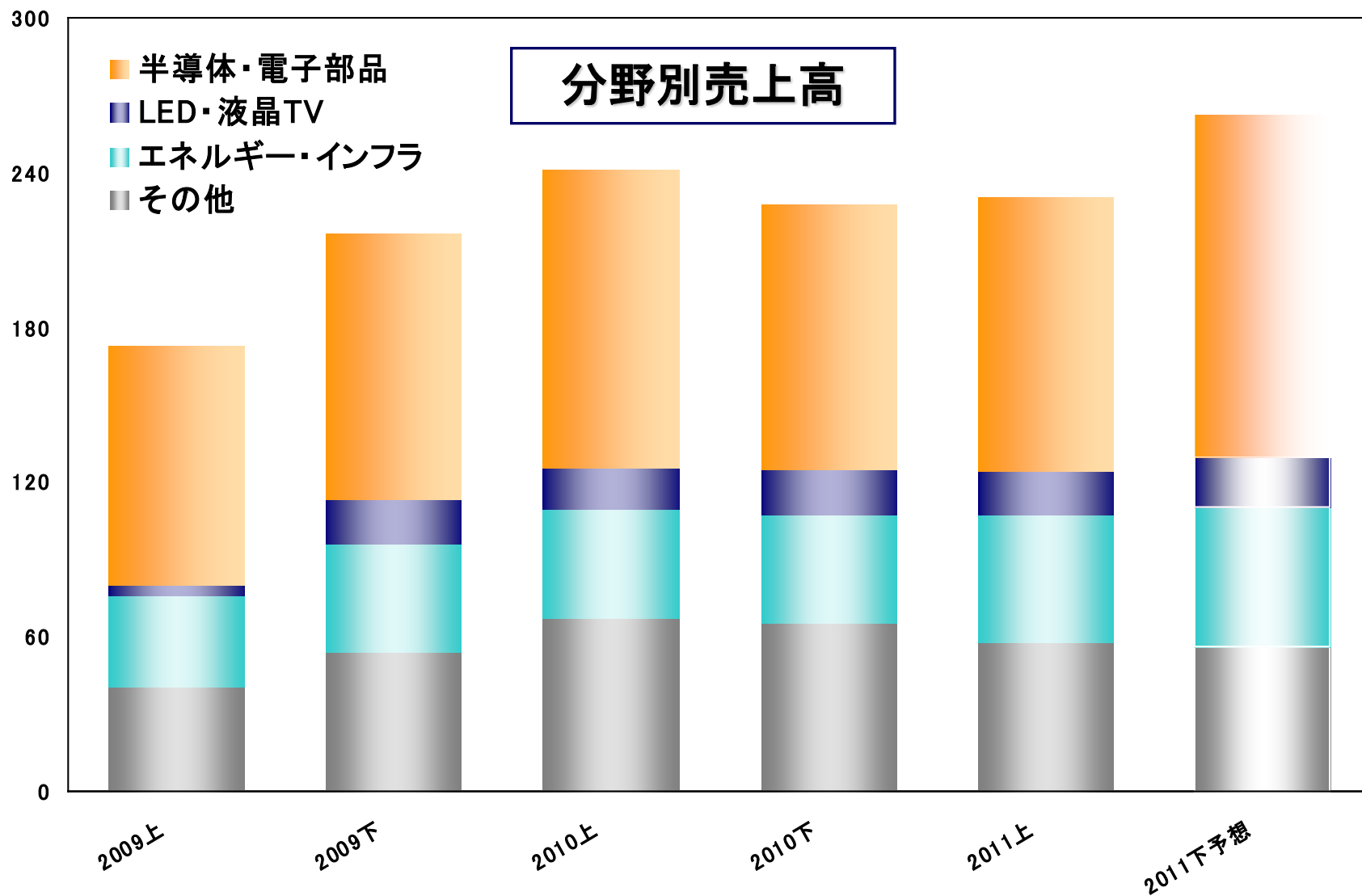
2. 通期業績予想 ④ (当初予想比・セグメント別) 単位:億円

売 上 高	今 回	当 初	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	
有機系素材事業	1,768	1,906	▲138	▲59	▲79	
無機系素材事業	495	499	▲4	▲1	▲3	
電子材料事業	493	549	▲56	▲1	▲55	
機能・加工製品事業	760	821	▲61	▲4	▲57	
その他事業	354	365	▲11	0	▲11	
合 計	3,870	4,140	▲270	▲65	▲205	
営 業 利 益	今 回	当 初	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	コ ス ト 差 等
有機系素材事業	65	79	▲14	▲59	▲19	64
無機系素材事業	45	38	7	▲1	1	4
電子材料事業	70	114	▲44	▲1	▲42	▲1
機能・加工製品事業	70	79	▲9	▲4	▲17	12
その他事業	10	10	0	0	0	0
消去差	-	-	0	0	0	0
合 計	260	320	▲60	▲65	▲77	79

3. 主力製品動向 ① (電子材料 分野別)

- ➔ 半導体・電子部品 (構成比 50%)
溶融シリカファイラー・キャリアテープ用素材(包材):
足元は厳しい状況だがアジアでのボリュームゾーン参入を目指す
- ➔ 液晶TV・LED (構成比 10%)
蛍光体・モノシラン・BN成形品:
大型TV用需要の回復は期待薄だが、主力の緑色に赤色を
ラインナップに加えるとともに、照明分野向け製品の開発を進める
- ➔ エネルギー・インフラ (構成比 20%)
ANP・アルシंक:
パワーモジュール用として、
既に大きなシェアを獲得、安定的成長が見込まれる電鉄用
今後大きな成長が見込めるHEV/EV用(車載用)
- ➔ その他 (構成比 20%)
セラミックス(BN・SN)・放熱材・その他接着剤等:

3. 主力製品動向 ② (電子材料分野別売上高推移) 単位:億円



3. 主力製品動向 ③ (クロロプレン・その他)

【クロロプレンゴム】

販売需要動向

競合メーカー原料のブタジエン
外貨建の製品価格の値上げ



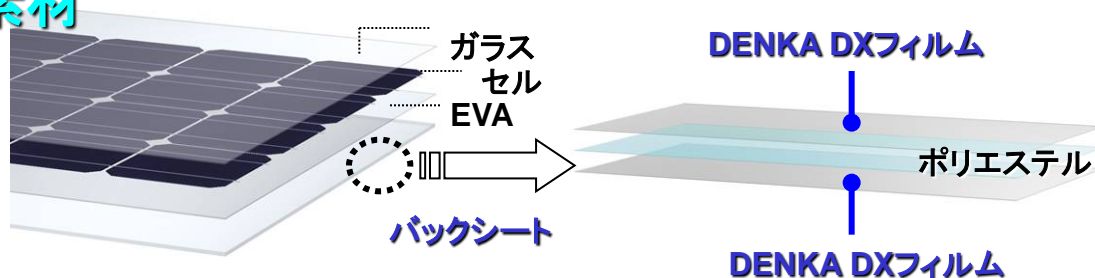
価格と製品価格
(円高対応)

【DXフィルム】

太陽電池バックシート素材

一時的には落ち込むが

中・長期的には成長持続



【医薬品】

高分子ヒアルロン酸製剤

今期は新プラント(1,500万本/年)の本格的な拡販に

4. 今後の具体的戦略 ①（経営環境の変化と事業運営）

ポイント

- ・世界経済の回復時期（欧米・中国）
- ・需要構造の変化
 - 薄型TV等高級家電の動向
 - 電子部品小型化・情報携帯端末の普及
 - 再生可能エネルギー分野 等

当社中期経営計画「DENKA100」

「カーバイドやスチレンチェーンの収益を基礎として、
電子材料や機能・加工製品などの高収益製品を
”成長分野”と”成長地域”で伸ばす」

→ 従来どおり推進

4. 今後の具体的戦略 ② (具体的戦略)

(1) 中国・アジアは依然として成長地域

⇒ 中期的な視野に立ち積極的展開を図る。

- ①電材の中核製品(シリカフィラー・包材)のボリュームゾーン参入
- ②カッラ用合繊等樹脂加工製品のアジア生産拠点新設
- ③海外販売体制強化(関連商社統合・北京事務所設置)
- ④研究開発拠点の設置(現地一貫体制拡充)

(2) 新たな成長分野の見極め

⇒ エネルギー・インフラ分野(二次電池材料・風力発電用素材他)、
携帯端末等情報関連分野(テンプロック・フィラー他)等、
新たな成長分野へのリソース重点化

(3) クロロプレンゴム

⇒ ブタジエンの高値・逼迫状況は慢性的に継続
世界各地域での販売を強化
特に新たな市場である米国への本格参入の準備

5. 資本政策

単位:億円

【主要財務指標】	2011年9月末	(2011年3月末)
総資産	4,072	(4,020)
有利子負債	1,159	(1,146)
純資産	1,716	(1,682)
株主資本比率	41. ⁵ %	(41. ² %)
D/Eレシオ	0.675	(0.681)

【株主還元推移】

DENKA100 : 「安定配当をベースに30%を目指す」

	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績	08年度 実績	09年度 実績	10年度 実績
当期純利益	154	157	67	14	105	146
配当 (円/株)	7.0	8.0	10.0	7.0	8.0	10.0
自己株式取得				30		
総合還元	23%	25%	75%	464%	38%	34%

2011年度
予想

150

10.0

30

53%

6. 最後に（DENKAの企業活動）

企業活動

事業活動

利益の追求

品質・安全・
環境・法令

従業員・株主・取引先・
地域などへの誠実な対応

100年にわたり築いた信頼を次の100年も継続していく

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。